

大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会

第1回 幹事会 議事録

開催日時：平成29年12月19日（火） 13:00～14:15

場 所：大阪市役所 P1 共通会議室

1. 開会

川田都市計画局長（大阪市）

それでは、定刻になりましたので、大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域都市再生緊急整備協議会幹事会を始めさせていただきます。

本日、司会進行役を務めさせていただきます、大阪市都市計画局長の川田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。着席して進めさせていただきます。

なお、会場にお越しの傍聴の方、報道関係の方々には会議の円滑な進行に御協力よろしくをお願いいたします。

本幹事会は、先日協議会会議の皆様方に書面による表決をいただき、協議会会議の議事等を補佐するために新たに設置させていただいております。幹事会構成員及び本日の御出席の御紹介は配席図と構成員名簿をもってかえさせていただきます。

～資料確認（省略）～

2. 議題

- ・ 幹事会長の選任について
- ・ 都市再生制度を活用した民間都市開発の取り組みと制度の効果、今後の方向性
- ・ 各エリアにおけるまちづくり等の取り組み状況と今後の展望

川田都市計画局長（大阪市）

では、議題に入らせていただきます。はじめに幹事会の会長の選任を行いたいと思います。幹事会設置要綱第3条第2項では、「幹事会に幹事会長を置き、幹事会の構成員の互選により選任する」とありますが、協議会会議の議長や大阪駅周辺部会の部会長でもある大阪市の吉村市長とさせていただいてもよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

川田都市計画局長（大阪市）

それでは、幹事会長は大阪市の吉村市長にお願いしたいと思います。では、市長一言御挨拶お願いいたします。

吉村大阪市長

皆さんこんにちは。市長の吉村です。本日は、本当にお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。着席させていただきます。

大阪駅周辺、それから中之島、御堂筋周辺の緊急整備協議会、平成24年に立ち上がりまして、そしてその同日に設置しました大阪駅の周辺部会と、それから昨年3月に設置しました中之島の地域部会を含め、皆様にはさまざまな活発な御議論をいただいております。大変感謝しております。今回、残る御堂筋周辺の地域部会の将来的な設置も見据えて、それぞれの部会間の連絡をより一層図るために幹事会を設置、開催させていただくという運びになりました。今日は、都市再生緊急整備地域指定後の各エリアの総括であったり、今後の展望についての情報を共有いたしまして、エリア間の連携を図ってさらなるこの都市魅力の向上を図ってまいりたいと思います。皆様の活発な意見をいただきまして、この幹事会が実り多きものになりますようお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いたします。

川田都市計画局長（大阪市）

どうもありがとうございます。

それでは、早速ですが議題に入らせていただきます。

まず第1番目には、「都市再生制度を活用した民間開発の取り組みと制度の効果、今後の方向性」について、大阪市全体のことについて、私のほうから資料に沿って御説明させていただきます。資料Ⅱまたは前のスクリーンをごらんください。

～資料説明（省略）～

それでは、続きまして各エリアの取り組みなんですけれども、まず1月に大阪駅周辺地域部会でうめきた2期に関していろいろ課題の御指摘もございましたので、その対応も含めまして、大阪駅周辺エリアからの御説明をさせていただきます。

合田うめきた整備担当部長（大阪市）

それでは、うめきたのまちづくりについて御説明したいと思います。資料は右肩資料番号Ⅲをごらんいただきますでしょうか。

～資料説明（省略）～

続きまして、2期まちづくりの中核機能「イノベーション」の話に移りたいと思います。

関専務理事（関西経済連合会）

それでは、資料Ⅳに基づきまして、本年6月に設立しましたうめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会の取り組みにつきまして、協議会を代表して御説明させていただきます。

～資料説明（省略）～

以上でございます。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。

今関様のほうからイノベーションのお話をしていただいたんですけど、前回中之島との関係という話がありまして、今スクリーンに示しておりますのは中之島のほうの協議会でお示した資料なんですけれども、うめきたというのは先ほど御説明ありましたように、いわゆるこれから何をするか、「What to do」を皆さんが知識を集めて研究プロジェクトを推進していくと、組成していくと。それにファンディングエージェンシーなんか協力しながら事業化へつなげていくという仕組みをつくっていく。いわゆる地方創造拠点という、その場になります。中之島については今議論しているんですけども、専用の臨床病床をもった、またその細胞バンクであるとか細胞の培養センターなんかも臨床研究・治験の実践の場ということを狙っております、それと併せてデータセンターも設置しながら、審査基準を確立していくレギュラトリーサイエンスという、そういった個別の非常にウェットな部分を担う知の実践の場ということで、今後連携していくべきだろう

ということで議論しているんです。ですので、これからこういうみどりに関してもこういうようなテーマで連携していけるのではないかと考えております。

大阪駅周辺についての説明は以上でございます。

それではここで、内閣府の頼審議官のほうからコメントをいただきたいと思っております。

頼審議官（内閣府地方創生推進事務局）

内閣府地方創生推進事務局でございます。本日事務局長の河村の代理で出席させていただきます。

今年1月の大阪駅周辺の地域部会の中で大きく2つのお願いをさせていただいております。その1つが今も御説明いただいたように中核機能が今回のまちづくりの肝である。このよいまちづくりですとか、いい公募ができるようにその中核機能の実現に向けて関係者間でじっくり丁寧に準備をしていただきたいということが1つ。もう1つが、先ほどお話もありましたとおり中之島との役割分担、連携。もちろんその関西一円の研究開発拠点との連携の考え方、それまさにうめきたの役割、位置づけそのものだと思いますが、それを明確にさせていただけないかというお願いをさせていただきました。今御説明をいただきまして、まず1つ目の中核機能の話につきましては、今年6月に関経連さんを代表とした大阪府、市も参画した推進協議会が設立され、2期におけるイノベーション創出へ向けた枠組みが形となり、中核機能の実現に向けた具体的な活動がこれまで展開されてきていること、またこれからも展開されていくことがよくわかりました。また、中之島との役割分担、連携という部分につきましては関西一円の研究開発拠点や大学等も含めて役割分担、連携を図りながら関西のハブとなり、技術の橋渡し役となって、関西全体の活性化に貢献していくという、うめきた2期の位置づけもよく理解できたと思っております。

また併せて2期の想定スケジュールにつきましても、関係者の調整・合意が図れたものが示されたということで、うめきた2期のよりよいまちづくりの実現に向けた事業者の公募、募集の準備がいよいよ整ってきたものと感じました。今後UR都市機構さんにおかれまして、2期開発の事業者募集を始められるものと思っておりますけれども、引き続き府・市・経済界をあげて取り組みいただきまして、2期の開発が真に関西の底上げ、発展に寄与するものとなりますようお願いを申し上げます。以上でございます。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。

それでは、吉村市長、今の頼審議官のコメントに対してコメントをいただければと思います。

吉村大阪市長

このうめきたの中核機能について熱心に議論いただいて、その方向性は定まったと認識しています。このうめきたは関西の経済の競争力の強化、それから強みであります広い意味でのライフサイエンスといったものなどでのイノベーションの創出という意味で、非常にこれからの大阪、それから関西全体の成長の拠点になる、まさにそんなエリアになるだろうと、そのハブの拠点になると思っています。そういった意味で非常に重要な拠点であります、1月から重ねて議論をいただいてきたところです。今日こうやってまとめていただいて、中之島との連携であったり、他の研究機関との連携、そして大阪の今後の将来のスケジュールも踏まえたこの計画ということが一定程度示されたと思います。このイノベーションの拠点としてのうめきた2期について、私はほぼ準備が整ってきたと思っています。ですので、うめきた2期の開発事業者の募集、まさにその準備がほぼ整ったというふうに認識しています。近日中にURさんとともにこの募集について開始することを発表したいと思います。うめきた2期については、大阪だけではなくて関西全体の経済成長の非常に重要な拠点であります。そういった意味で国・府ともこれまで一緒に議論させていただきまして、御協力もいただきました。大きな成長のためにこの拠点について第一歩を踏み出したいと思っています。2023年にうめきたの新駅を開業させて、2024年には先行まちびらきを実現したいと思っています。2024年というのは、今万博の誘致をしておりますけれども、2025年が万博の誘致が実現すれば万博が実現する。そしてこの2024年、2025年あたりで夢洲のエリアで統合型リゾートの誘致を今チャレンジしているところです。そういったところなど不確定な要素もありますけれども、万博も実現すれば相乗効果もさらに見こめるエリアになってくると思います。

大阪、関西の経済の成長に非常に重要な事業だと思っていますので、これを確実にこの期間どおりに成功させていきたいと思っていますので、これからも皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

川田都市計画局長（大阪市）

市長ありがとうございます。

それでは本件の主体であります、URの西村支社長からコメントをいただければと思います。

西村理事（都市再生機構）

UR都市機構でございます。私どもうめきた2期の区画整理事業の基盤整備と土地の用地取得、譲渡による民間開発の誘導を担当させていただいております。開発事業者さんへの土地譲渡の公募手続きにつきましては、ただいま市長さんからお話ございましたように近日中に開始すべく準備を整えているところでございます。ここにあたりましては、開発計画の企画提案、それと土地価格、この2つの要素で事業者を決定していくということになりますけれども、先の地域部会で関経連をはじめとする関係者の皆様から企画提案を重視でという御意見をいただいていたところございまして、その方向での公募内容となるようにつめてきております。まちづくりのテーマでございます、みどりとイノベーションの融合について、未来の大阪、ひいては関西にとりましてすばらしい提案がされることを大いに期待いたしますとともに、私どもとしても引き続きしっかり取り組んでまいりたいというふうに考えてございます。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。ぜひ地域部会の総意で企画重視でということがありましたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、吉村市長につきましては公務の関係でここで退席させていただきますので、しばらくお待ちください。

（吉村市長 退席）

川田都市計画局長（大阪市）

続きまして、中之島まちづくりについて、資料に沿って説明いたします。

山田開発調整部長（大阪市）

私のほうから、中之島のまちづくりについて、資料Vになります。資料Vと前のスクリーンに沿って説明させていただきます。

～資料説明（省略）～

続きまして、エリアマネジメントにつきまして中之島まちみらい協議会を代表しまして、関西電力様から御説明をお願いいたします。

香川取締役副社長執行役員（関西電力株式会社）

中之島まちみらい協議会の座長を務めております、関西電力の香川と申します。

先ほど大阪市さんのほうから御説明いただきましたけれども、官民の連携のもとで中之島のまちづくりを進めておるところでございます。私ども協議会ともう一つ中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会さんと民間2団体が中心になって、両者連携しながら対応しているところでありまして、私どものこのみらい協議会のほうでは地域防災、減災をはじめとしたエリアマネジメントを行っているところでございます。こういった私どもの団体としての活動のきっかけが実を結んで先に我々掲げます「中之島まちみらい構想」の実現をめざしておりますので、引き続き行政サイド、関係者の皆様方の御支援、御協力を賜るようお願い申し上げたいと思います。

中身につきまして、事務局のほうから説明させていただきます。

～資料説明（省略）～

山田開発調整部長（大阪市）

続きまして、御堂筋の沿道のまちづくりについて、資料で言いますとVI番の資料になります。また前のスクリーンもごらんいただければと思います。

～資料説明（省略）～

続きまして、エリアマネジメントにつきまして御堂筋まちづくりネットワークを代表し

まして、大阪ガス様から御説明をお願いいたします。

本多理事（大阪ガス）

ただいま御紹介いただきました、御堂筋まちづくりネットワークで代表理事の代行をしております本多のほうから発表させていただきます。

～資料説明（省略）～

長くなりましたが以上でございます。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。ちょっと長くなっているんですけども、最後のエリアマネジメントに関して私のほうから資料Ⅶに基づいて少しお話させていただきます。

～資料説明（省略）～

ざっと説明は各イベントの取り組み、開発も含めて以上でございます。

最後に、エリアマネジメントの課題についてお話が出ましたので、内閣府頼審議官のほうで今もし御検討の話があれば補足でお願いしたいと思います。

頼審議官（内閣府）

資料Ⅶの2枚目のところに、右肩に12月18日に開催されたまち・ひと・しごと創生会議の資料抜粋という資料を一緒につけさせていただいております。

～資料説明（省略）～

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。それではちょっと時間がオーバーしているんですけども、せっかくなので何か御意見等ございましたらお伺いしたいと思います。

では、すみません、指名制で池田局長いかがですか。

池田局長（国土交通省近畿地方整備局）

いつもお世話になります。近畿地方整備局長の池田と申します。せっかく機会をいただきましたので、二、三コメントさせていただきたいと思います。最初ありました大阪駅周辺については説明にもありましたように、年間5,000万人ということで、4年で2億人を超えたということで目標より30%ほど多くの方がこられていて非常に喜ばしいことだと思います。原因といいますか、そのポイントはいろいろあると思いますけれども、ナレッジキャピタルのような取り組みも私はすばらしいなと思っていつも見ていますけれども、中のオープンスペースとか一般開放されているいろんなものがありますけれども、動線もいいのかなというふうに思います。今後2期工事はさらにみどりを展覧にした空間もふえますので、ぜひ1期に負けないような動線を大事にさせていただいたり、それからスカイピルのほうも含めて周辺からも利用しやすいような動線ですね。こういったものにより一層気をつけていただけたらさらにいいのかなというふうに思います。それから、同じ観点で中之島の御説明もありましたけれども、特に4丁目のところに美術館ですとかアゴラ構想とかいろいろありますけれども、こういうところもぜひこの周辺からも使いやすいような公園みたいな感じで、その美術館に入った人だけ使えるような公園じゃなくて、美術館にその時に用がない人も使えるような、そういうような観点を大事にしてもらえたらいいかなというふうに思います。それから、御堂筋については随分この80周年でいろんな議論が進んできております。先ほど本多さんから御説明のありました地域の活動についても非常にすばらしいものだなと思って、改めて感心して聞いておりましたけれども、ぜひこれを定着させる意味でも今日も話がありました、人中心の空間に模様替えするという構想がありますので、できるだけ早くそれを目に見える形にすることが今の動きを定着させるポイントだと思いますので、なんばから長堀までの間についてはできるだけ早くいろんな警察さんとの協議とかありますけれども、できるだけ早く側道を廃止した歩道空間を広げることを急いでいただいて、こういうにぎわいの動きを加速していただければというふうに思います。国としてもいろんな形で支援を引き続きさせていただきたいと思います。またこちらこそよろしく申し上げます。ありがとうございました。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。うめきたも中之島も動線が大事だということで、2期に関して1期とのつながりや動線、それから大阪駅との動線、それとエリアの中の回遊動線とい

うのを非常に大事に思っておりますので、そういったものがご提案いただけるようにコンペも進めていきたいと思っております。中之島についても美術館のところにも広場空間も確保する予定ですし、アゴラ構想も含めて中央エリアに、我々中央緑道と呼んでるんですけども、みどりのプロムナードができるように考えたいと思っておりますので、よりこういう動線とかを大事に考えていきたいと思っております。御堂筋については、できるだけ緩速車線を早く歩行者空間化するように建設局とも協議をしながら、警察さんともお話をさせていただきながら早い時期を示せるようにしたいと思っております。ありがとうございます。

坂野近畿運輸局局長、お願いできますでしょうか。

坂野近畿運輸局局長（国土交通省）

近畿運輸局局長の坂野でございます、いつもお世話になっております。

この大阪駅周辺、中之島それから御堂筋周辺といった周辺は非常に関西の、西日本の顔となっているエリアでありまして、その能力を最大に発揮するために交通基盤の整備が大変重要だと思っております。先ほどの説明の中でも一部言われていましたけれども、かねてから懸案だったなにわ筋線でございますけれども、今年の5月に動きがございまして、大阪府・市、それから関係事業者で計画概要について合意がされて、さらにその秋には整備フレームとか資金フレーム、それから費用分担の話題についても意思決定されたと、検討は着実に進んでいるということ承知いたしております。また、このなにわ筋線に関連して、別途うめきたのほうに向かえる北梅田という新駅と十三、中之島・新大阪を結ぶ連絡線等々と関連の鉄道プロジェクトも関係事業者から提案されているという状況になっております。そうした動きを踏まえて、私どもとしても、国のほうも関連性も含めて調査を別途進めているところでございます。この交通プロジェクトですけれども、今日御議論があったこの3地区の開発が、都市再生が着実に進んで、むしろ需要が確実に創出されるということが、この鉄道プロジェクトの円滑な進捗に資するのであると思っております。この再生に、円滑な実施に私どもぜひ期待をいたしておりますし、それと並行して市場調査をしっかりと進めて、このなにわ筋線、その他のプロジェクトの早期具体化に向けて取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。なにわ筋線も含めまして、我々大阪でいうと20年ぐらいなか

なか新しいプロジェクトが生まれていませんでしたので、しっかりやりたいと思っておりますので、御支援よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと、せつかくの機会ですので、民間の方々で経済界の方々もいかがでしょうか。

難波取締役執行役員副社長（竹中工務店）

中之島のエリマネに参画させていただいております、竹中工務店の難波でございますけれども、今まで皆さんの議論があったように、やはり中之島の課題としましては、法人化がなされていないということで、これを早く皆さんの御理解を賜ってやっていくということがスタートになると思うんですけれども、やはりそのときに川田局長のほうから御整理いただいたエリマネにおける課題ということで税制優遇とかもろもろ100%の合意を得なくてもいろいろやれるとか、そういうことのアドバンテージをいただいた中で、積極的に民間としていいまちづくりにかかわって、中之島の活性化に寄与していきたいというふうに思っておりますが、今後ともそういう中でいろいろ御指導賜ればありがたいなと思ひます。よろしくお願ひいたします。

川田都市計画局長（大阪市）

ありがとうございます。逆に、頼審議官といろいろ意見交換させていただきながら新しい法律の運用の仕方を我々も勉強して、また実務に落としていきたいと思っておりますので、是非大阪が第1号になれるように頑張りますので。

ほかにございますか、よろしいでしょうか。

それでは時間も過ぎましたので、これで第1回の幹事会を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。